

土岐市公共施設マネジメントシステム構築業務 仕様書

1 業務概要

(1) 業務名

土岐市公共施設マネジメントシステム構築業務

(2) 業務の目的

土岐市では、多くの公共施設が更新時期を迎える中、施設情報、維持管理情報、修繕履歴及び点検結果等の情報を効率的かつ一元的に管理し、計画的な更新・修繕を推進する必要がある。

現状では情報が複数部署に分散しており、情報の共有や活用が十分ではないため、公共施設マネジメントシステムを構築し、施設情報の一元管理を実現するとともに、公共施設マネジメントに必要な分析及び可視化を行うことで、客観的なデータに基づく意思決定を支援し、効果的な公共施設マネジメントを推進することを目的とする。

(3) 履行期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

(4) 履行場所

土岐市役所（岐阜県土岐市土岐津町土岐口 2101）及び受託者の事業所

2 業務内容

(1) 業務の範囲

業務の範囲は、次の各号に掲げる事項とする。

- ①公共施設マネジメントシステムの構築
- ②市保有データの整理及びシステムへのセットアップ
- ③操作マニュアルの作成及び操作説明会の実施
- ④運用支援及び保守
- ⑤その他本業務の目的達成に必要な事項

(2) 業務実施計画

受託者は、業務の着手にあたり、実施体制、工程、役割分担、品質管理方法等を記載した業務実施計画書を作成し、市の承認を得ること。

3 システム構築要件

(1) システム構成

システムは、LGWAN-ASP 方式又はインターネット回線を利用したクラウド方式とする。
インターネット回線を利用する場合は、以下のようなセキュリティ対策を講じること。

- ①二要素認証等による認証強化
- ②IP アドレス制限等のアクセス制御
- ③通信の暗号化（HTTPS 等）

④その他不正アクセス防止対策

(2) システム要件

システムは「別表 システム機能要件一覧」に示す機能を満たすこと。

(3) ライセンス要件

ユーザーライセンスは無制限であり、同時接続数は5ユーザー以上であること。

(4) 稼働環境

システムは、以下の環境で利用可能であること。

1	OS	Microsoft Windows10 以上
2	ブラウザ	LGWAN-ASP 方式 : Microsoft Edge 又は Google Chrome インターネット方式 : Microsoft Edge 又は Google Chrome
3	関連ソフト	Microsoft 365 Apps for enterprise

(5) 運用時間

システムの運用時間は原則として 365 日 24 時間とする。ただし、保守作業等により停止が必要な場合は、事前に市と協議のうえ最小限とすること。

4 データ整備及びセットアップ

(1) データ整備

受託者は、市が提供する固定資産台帳データ等を基に、施設基本情報、棟情報等を整理すること。データの不足、不整合がある場合は、市と協議のうえ補完方法を提案すること。

(2) データ投入及び設定

受託者は、整備したデータをシステムへ登録し、検索、閲覧及び帳票出力等が可能な状態に設定すること。

5 操作支援

(1) マニュアル作成

システムの操作及び運用に関するマニュアルを作成すること。

(2) 操作説明会

操作説明会を1回以上実施すること。

6 運用支援及び保守

(1) 運用支援

システム稼働後の問合せ対応等、円滑な運用に必要な支援を行うこと。

(2) 保守

①障害対応、バグ修正、軽微な設定変更等を行うこと。

②対応時間、連絡体制等を明確にすること。

③バージョンアップがある場合は迅速に対応すること。

7 打合せ及び報告

(1) 打合せ

業務の進捗に応じて適宜打合せを実施すること。

(2) 進捗管理

受託者は、業務の進捗状況を適切に管理し、市の求めに応じて報告すること。

8 成果品等

(1) 業務の成果品は以下のとおりとする。

	項目	数量	備考
1	システム	1 式	
2	システム操作マニュアル	1 部	
3	関連資料	1 部	ライセンス証等
4	業務完了届	1 部	
5	業務報告書	1 部	
6	打合せ記録簿	1 部	

(2) 受託者は、業務完了後に市の検査を受けるものとする。検査の結果、修正が必要と認められた場合は速やかに修正すること。

(3) 受託者は、納入した成果品に契約内容との不適合があった場合は、市の請求により速やかに修正するものとする。

(4) 業務で整備したデータ及び設定情報は市に帰属する。受託者は、契約終了時には整備したデータ及び設定情報を CSV 等の汎用形式で提供すること。

9 その他

(1) 協議事項

仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、市と受託者が協議のうえ決定する。

(2) 再委託

受託者は、本業務の全部を第三者に再委託してはならない。ただし、一部について市の承認を得た場合はこの限りでない。

(3) 守秘義務

受託者は、業務により知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。

＜別表＞システム機能要件一覧

1 共通機能		必須
1-1	ユーザー認証及び権限設定ができること	○
1-2	操作ログ管理やバックアップ機能を有すること	○
1-3	年度ごとの処理が可能で、各項目について個別の編集が可能であること	○
1-4	PDF・Excel 形式で帳票を出力できること	○
1-5	条件検索及び並べ替えができること	○
1-6	施設情報などのデータの一括処理が可能であること	○
1-7	標準パッケージとして開発し、サービスが提供されていること	○

2 施設情報		必須
2-1	施設情報を管理できること (施設名称、施設コード、施設分類、所在地、施設所管課、施設用途、運営時間、駐車可能台数、建物写真など)	○
2-2	建物・棟(部屋)情報を管理できること (棟コード、主体構造、階数、延床面積、建築年、耐用年数、耐震診断状況、改修履歴、利用稼働率、アスベスト対策情報、バリアフリー対応情報、設備情報、避難所情報、取得価格情報など)	○
2-3	土地情報を管理できること (敷地面積、借用面積、地目、建ぺい率、用途地域など)	○
2-4	設備情報を管理できること (電気設備、機械設備、衛生設備など)	○
2-5	維持管理コスト情報を管理できること (使用料及び手数料、その他収入、備品購入費、光熱水費、消耗品費、工事請負費、修繕費、委託費など)	○
2-6	工事履歴情報・点検履歴情報を管理できること (工事名称、契約額、各種点検項目、指摘事項管理など)	○
2-7	劣化度情報を管理できること	○
2-8	写真・図面等を管理できること	○
2-9	施設位置を管理できること	

3 施設カルテ		必須
3-1	施設カルテを作成・表示できること	○
3-2	施設概要を表示できること	○
3-3	施設の維持管理費、利用状況を表示できること	○

3-4	施設の修繕履歴、点検履歴を表示できること	
3-5	施設カルテを出力できること	○

4 LCC シミュレーション		必須
4-1	施設情報を基に、ライフサイクルコストの計算ができること	○
4-2	将来の更新・維持管理コストが試算できること	○
4-3	更新時期・各部位の修繕時期を変更して試算できること	○
4-4	シミュレーション結果をグラフなどで出力できること	○

5 施設評価・施設間比較・分析		必須
5-1	施設評価ができること	○
5-2	施設間比較ができること	○
5-3	維持管理費を比較できること	○
5-4	利用状況を比較できること	○
5-5	グラフ等により可視化できること	○
5-6	更新優先度を分析できること	○

6 その他		必須
6-1	システムから抽出したデータを基に、公共施設等総合管理計画などの策定支援ができること	○
6-2	システムの変更やバージョンアップに早急に対応可能であること	○
6-3	公共施設マネジメントに資する独自提案があること	